

2022年6月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ：【Flower】

♣…ジャズビギナーにオススメ

	日	曜日	管理番号	ジャケット名	アーティスト	ひとこと
☆	2	木	00395	フラワーズ・イン・ザ・ウォーター	ヘイッキ・サルマント	フィンランド出身のピアニストを中心としたセクステットによる白熱のライブ演奏。
	3	金	08224	ア・ニュー・アルバム	メル・トーマ	ロンドン交響楽団と共演した、壮大なスケールの名作。
	4	土	02246	フロム・ダコタ・ウィズ・ラヴ	ダコタ・ステイトン	《記念日》1930年6月3日生
☆	5	日	04172	フォレスト・フラワー	チャールス・ロイド	1960年代後半に米で流行したフラワー・ムーブメント、サイケデリック・ジャズの空気を捉えた代表作。
♣	6	月	07753	オール・スルー・ザ・ナイト	ジュリー・ロンドン	名作曲家コール・ポーターにトリビュートしたジャズ・ヴォーカルの大傑作。
☆	7	火	05628	サンシャイン	サニー・マレイ	♪「フラワー・トレイン」収録
	8	水	—	休館日		
☆	9	木	04448	ラヴ・クライ	アルバート・アイラー	♪「ラヴ・フラワー」収録
♣	10	金	04730	コンサート・バイ・ザ・シー	エロル・ガーナー	スタンダード・ピアノ・トリオ史上に残る永遠のベスト・セラー。
	11	土	02951	ホット・ハウス	バド・パウエル	ヨーロッパでの最後の録音と言われているパウエル晩年の快作。
			—	19:00～ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 『ブームをもたらしたボサノヴァの決定版』スタン・ゲッツ&ジョアン・ジルベルト「ゲッツ/ジルベルト」		
	12	日	03595	ライト・アズ・ア・フェザー	チック・コリア	《記念日》1941年6月12日生
☆	13	月	01504	スパニッシュ・フラワー	ティール&カンパニー	森剣治ら8人編成のビッグ・コンボ、ティール&カンパニーが残した3部作の第3弾。
☆	14	火	07184	ホット・ハウス・フラワーズ	ウィントン・マルサリス	名匠ロバート・フリードマンをアレンジャーに迎え、ストリングスを大フィーチャーした力作。
	15	水	—	休館日		
	16	木	06333	ディア・マイ・フレンド・ハロルド	猪俣 猛	ベテラン・テナー・サクソ奏者ハロルド・ランドをゲストに迎えたLAでの1982年録音作品。
☆	17	金	07991	アフリカン・フラワー	ジェームス・ニュートン	ヴァイオリンやヴァイプを加えたユニークな編成とアレンジで、敬愛するエリントン・ナンバーを演奏。
	18	土	04453	セルフレスネス・フィーチャリング・マイ・フェイヴァリット・シングス	ジョン・コルトレーン	1963年ニューポート・ジャズ・フェスティバルのライブと65年のスタジオ録音を収録。
☆	19	日	03520	ムーンフラワー	辛島 文雄、エルヴィン・ジョーンズ	本作での共演をきっかけに辛島はジャズ・マシーンに参加し、世界中で活躍することとなった。
	20	月	11886	ディサイファー	ジョン・テイラー	イギリス・ジャズ界を代表するピアニストのトリオ編成による全曲オリジナル作品。
☆	21	火	05633	イネファブル	フリードリヒ・グルダ	♪「プラント・サム・フラワーズ」収録
	22	水	—	休館日		
☆	23	木	02045	ステッピング・アウト	スティーヴン・ハフステッター 他	♪「フラワー・イズ・ア・ラヴ・サムシング」収録
	24	金	08190	マウンテン・ダンス	デイヴ・グルーシン	《記念日》1934年6月24日生
	25	土	07852	ソング・フォー・マイ・ファーザー	ホレス・シルヴァー	ブラジルへの旅の経験からインスパイアされた名盤。
			—	19:00～ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 『日本が魅了された哀愁を帯びたサウンド』ソニー・クラーク「クール・ストラッティン」		
☆	26	日	01235	ブルー・ブラック	アンドリュー・ヒル	♪「ミスト・フラワー」収録
♣	27	月	10037	サキソフォン・コロッセオ	ソニー・ロリンズ	自身の代表作であることは勿論、圧倒的な完成度でモダン・ジャズの金字塔として輝く大名盤。
☆	28	火	03667	インタープレイ	アル・ヘイグ、ジャミル・ナッサー	♪「パッション・フラワー」収録
	29	水	—	休館日		
☆	30	木	01110	サンフラワー	ミルト・ジャクソン	ジャズ・ヴァイブラフォンの聖人がドン・セベスキの優大なアレンジで贈る1970年代の名作。